PETER DAVID BETER・音声書簡 第37号

1978年8月27日

テーマ1 中東のアメリカ最初のストライキへの道

1 より良いのは、近づいてくるキャンプデイビッドサミットが平和の雰囲気を作り出すことを期待していた。



2 しかし、和平協定がこの地域に軍事拠点を構えることになると主張した。



3 ソ連の宇宙飛行計画は、月面基地、インターセプター、宇宙圏という3つである。



4 彼は、秘密のサブクラフトが水と空中の両方を移動できると主張した。



5 彼はノルウェー、イラン、中国をソ連の宇宙施設に対する計画と結びつけた。



6 サウジの原油田への核攻撃が続くと、彼は危機の段階を予言した。



7 石油不足、配給、国家非常事態を予見した。



8 ベターは、市民がサイレンが鳴ったときだけ危険を認識すると警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第37号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第37号

1978年8月27日

テーマ2 ロシア、アジアで初の攻撃へ

1 ベターはモスクワが既にアメリカの計画を知っており、その対応を準備していると主張した。



2 彼は、ソビエト連邦の紛争に対する準備として、公の警告を見た。



3 彼はノルウェー近郊のソ連船が訪問する状況を、潜在的な舞台地域を監視と解釈した。



4 イランに対する不安は、アメリカ戦略のキーとなる支持を撤廃できると、彼は信じていた。



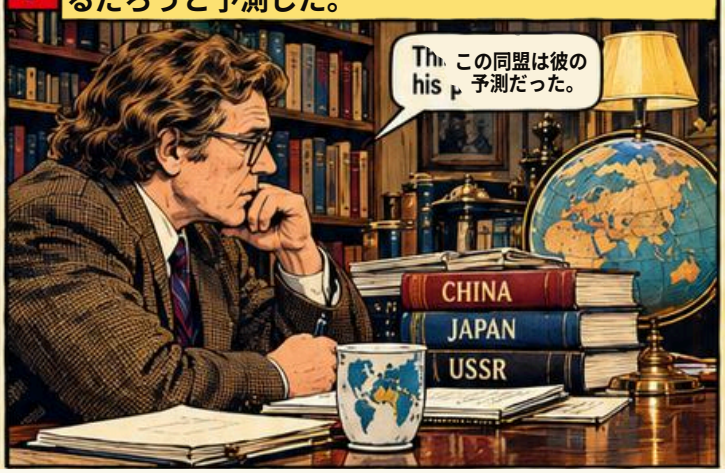
5 日中条約は、彼の新しいアジア同盟に関する議論の一部を形成しました。



6 彼は、フアがルーマニアとユーゴスラビアを訪問したことを、和解の可能性のシグナルとして解釈した。



7 彼はロシア、中国、日本がアジア枢軸国になるだろうと予測した。



8 また、被害を受けた天候や地震は秘密戦争のせいだとも述べている。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第37号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第37号

1978年8月27日

テーマ3 アメリカの難民の時代

1 ベターは、難民の避難所として、アメリカの長い歴史を思い出すことから始めました。



2 彼は、ドル買いの力の弱まりを発見する旅行者を指摘した。



3 彼は以前の本を思い出し、警告は無視されていると述べた。



4 彼の考えでは、家族は貯蓄を守る方法を模索していた。



5 彼はドルから離れ、時にはアメリカから移動している人々について説明しました。



6 空腹、革命、戦争からの将来の飛行を予測した。



7 1978年8月に、アメリカ合衆国を離れることを提案した。



8 彼は未来と祝福について真剣に考えるよう警告で締めくくった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第37号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。